

# 貧酸素水塊速報 (2016年)

【発行】○ 千葉県水産総合研究センター  
 神奈川県水産技術センター  
 千葉県農林水産技術会議  
 ○ 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター  
 第三管区海上保安本部  
 ○ 東京都環境局  
 ○ (国)国立環境研究所  
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)  
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 平成28年5月9～10日観測結果

今回も貧酸素水塊は観測されませんでした。千葉灯標周辺で溶存酸素量の低下がみられました(図1)。

水温は表層18～19℃、底層16～19℃で、特に船橋～市原の沿岸部は上昇傾向です。

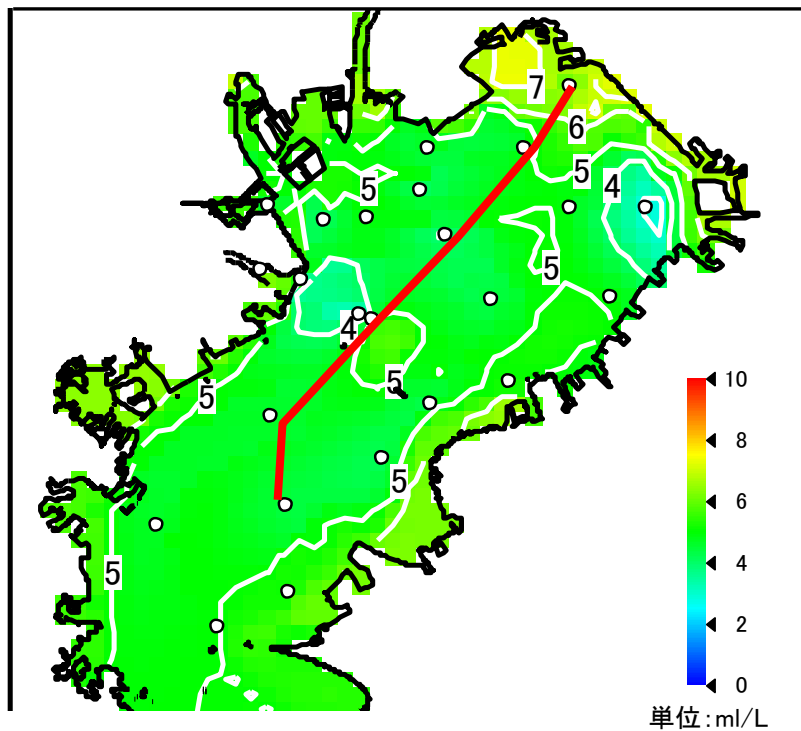


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

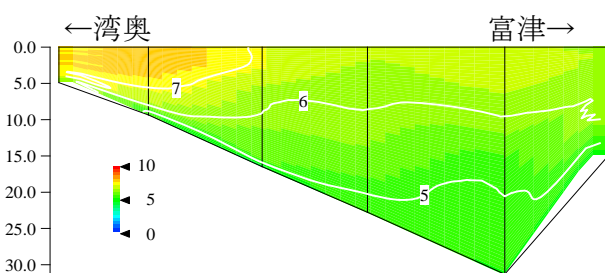


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

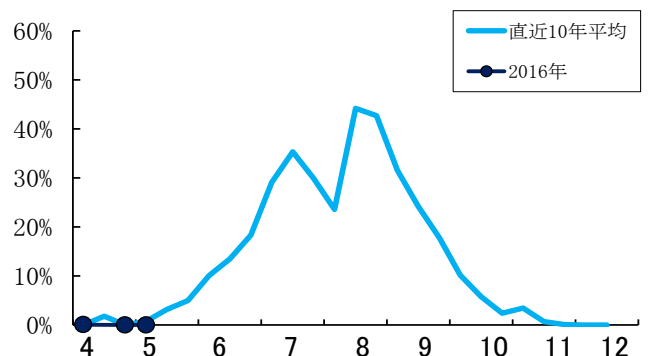


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)